PART I

走り屋も攻めまくり！ 全開ステージで聞く、乗りたいクルマ人気注目度Check！

fr「om男女混合走り屋&ギャラリー盛り上がりスポット

今、いっちば～ん気になるクルマ、シーン別アンケートで、"こんなクルマで攻め(られ)たい"実録ナマ集計

緊急突撃

やっぱりノってる走り屋ステージ、自慢派もお目立ちくんも、実は気になる人気度チェック。というわけで、まずはオレ達流のターゲットをアンケート分析。攻め方はいろいろだけど、ベースポテンシャルは要ポイントだ。オッと忘れちゃいけない、ハードボイルドの走り屋だって、やはり気になるギャルの視線。いったいどんなクルマがウケルのか？ シーン別"イケル"クルマにピンポイントだ！

その1 男のコ人気編

「乗りたいクルマに乗せたいクルマ、やっぱり自分流チューンが最高さ！」

ドリフト派も賑わう攻め込みステージ。まあ、予想通りと言っちゃあなんだけど、みんなに共通した答が、「チューニングカーです」だったな。

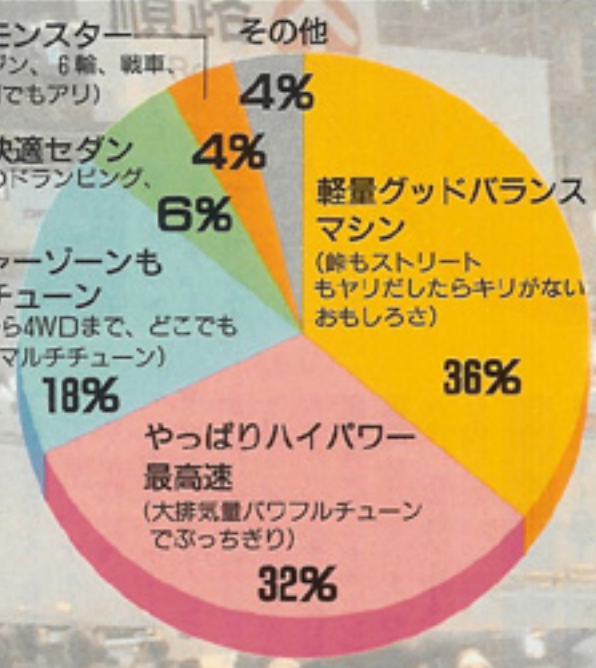
どーのこーの言ったって、走り屋あってのチューニング、その逆も真なり、だ。こんな時代だからこそ、この答にはなんだか安心したのだ。クルマは何だかんだ言ったって面白くなけれゃ～クルマじゃないもんネ。みんなこれからも頑張ってくれ、だぜィ。

現役バリバリ走り屋クン達の"乗りたいクルマ"ってのは"夢のクルマ"はあ

★チューナーに聞いた、"ホントーにヤリたいクルマ"グラフ

「ハンパはツマンナイ、じっくり作るか、あとは奇抜でウケ狙い!?」

※東京オートサロン'94出展予定チューナー50人に聞く

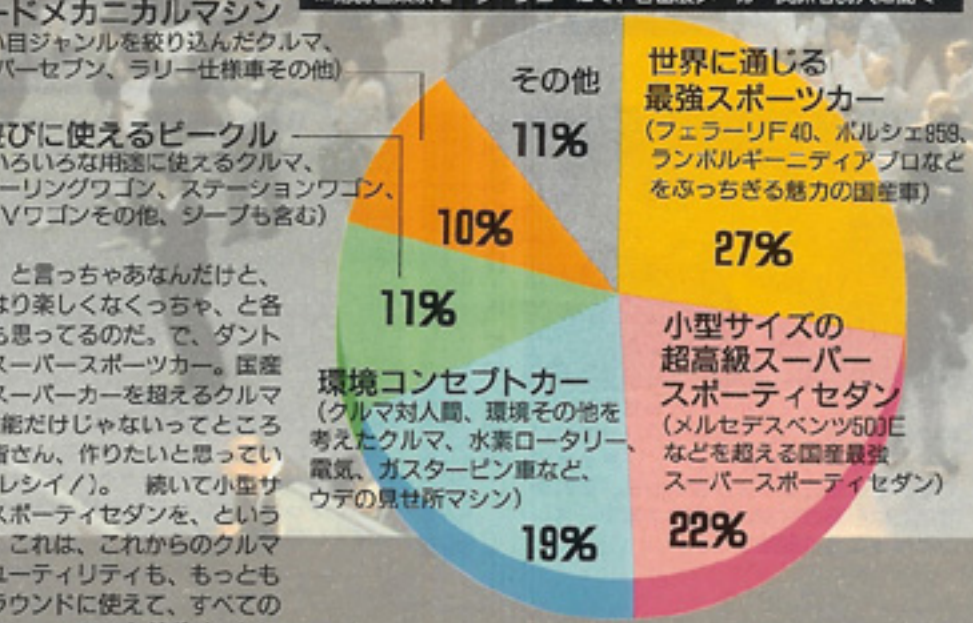


チューンの魅力はやっぱりパワー、最強パワフルマシンを作りたい、っていうチューナーも多いけど、軽量でバランスに優れたマシンがいいっていう考えも急上昇だ。このバランスってのがポイント。パワー、足まわり、ブレーキ、その他もろもろの釣り合いがとれてないと走りづらいクルマになってしまう。そこをうまくチューンするのがチューナーのウデの見せ所でもあるわけだよね。それで軽いクルマなら峠を走るのも一層楽しいし。意外な人気にビックリしたのはRV。プライベートでの遊び用に1台欲しいってところかな？でももちろんパワフルチューンをキメての話。このところ流行りのフル装備マシンだが、実は意外にイマイチ%。これはもう、新しいモノをやりたいということの裏返しかもしれないゾ。

★メーカー関係者に聞いた、"ホントーに作りたいクルマ"グラフ

「やっぱり乗る楽しさを、生かしたい！」

※第30回東京モーターショーにて、各出展メーカー関係者50人に聞く



「やっぱり」と言っちゃあなんだけと、クルマはやはり楽しくなくっちゃ、と各メーカー人も思ってるのだ。で、ダントツはやはりスーパースポーツカー。国産車で世界のスーパーカーを超えるクルマ(単に動力性能だけじゃないってところがミソ)を皆さん、作りたいと思っているんだね(ウレシイ！)。 続いて小型サイズの最強スポーティセダンを、という返答が2位。これは、これからのクルマは、走りもユーティリティも、もっともっとオールラウンドに使えて、すべての面で満足したい、ってことがポイントになっているのだ。で、小型サイズ、ってところにメリットを出しているコトがポイントだ。たとえば、中身GT-Rスペックのプリメーラとか、セルシオと同性能でサイズはカローラといったノリだ。その次はメーカーならではの返答で、コンセプトカー。電気自動車などの環境コンセプトカーや、新メイン・ターゲットになりつつあるRVなどが続く。が、すべてに共通するポイントは、やはり乗って楽しいクルマってこと。当たり前のようだが、重要ポイントだネ。

6年1月号